

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		総合振興計画策定、進行管理業務		担当課	総合政策課				(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度						
				担当G	政策推進グループ				活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)						
				会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)									
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	1	2	1	4		ア	策定状況	済	済	済	済						
（個別目標）			1	効率的で質の高い行政経営が推進されるまち	主な費目	報酬、委託料				イ	進行管理	済	済	済	済							
（施策）			2	行政組織の効率化	対象	総合振興計画				成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
（基本目標）		総合戦略																				
（施策）										事業期間	H18	年度～	年度（	年間）								
(1) 総事業費の推移		単位		4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価										
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	市の最上位計画であり施策の根本をなすものである。この計画に基づき、毎年実施計画を策定し、振り返りの作業を行うことにより、効率よい市政運営につなげている。										
		その他特定財源	千円																			
		一般財源	千円	0	0	0	2,640	7,960	0													
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	2,640	7,960														
		所要人員 (年間)	人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200													
		人件費概算 (B)	千円	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120														
	(A) + (B)	千円	1,120	1,120	1,120	3,760	9,080															
(2) 事業概要											効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	実施計画策定や振り返りについては、職員で対応する。									
事業目的	市の最上位計画である総合振興計画の前期基本計画を策定することにより市の将来都市像の実現を目指す。																					
事業内容	令和3年度に策定した第2次志布志市総合振興計画後期基本計画について進行管理と満足度調査を実施。																					
開始経緯	市の最上位計画である志布志市総合振興計画策定し、3年間の実施計画を進めながら目指す将来像に向けて取り組む必要がある。																					
実施状況	年度始めに前年度の振り返りを行い、3年間の実施計画を策定している。																					
成果	PDCAサイクルを確立させる仕組みを作った。																					
課題	加速する人口減少や急増する外国人に対する施策など、現状の課題に加えて次の10年間に於いて市民の幸福度を高めるような新たな視点を持った計画が求められる。									改革改善案												

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		地域力創造アドバイザー（外部専門家）招致事業		担当課		総合政策課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度													
				担当G		政策推進グループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)													
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	2	1	4																			
（個別目標）			4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料																						
（施策）			1	観光資源の整備、活用	対象	地域力創造アドバイザー				成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)													
（基本目標）		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる						ア	活用に至った資産の数	件			1	1	－	－										
（施策）			5	観光パワーアッププロジェクト	事業期間	R 5 年度～ R 6 年度（ 2 年間）				イ	－	－	－	－	－													
(1) 総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価																	
年間 事業費 内訳 タ ル コ ス ト	財源	国県支出金	千円						有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	志布志市観光振興計画における遊休資産の活用を根拠として取り組んでおり、市内には遊休資産と呼ばれるような資産が20件以上存在し、当該資産を活用し交流人口や関係人口の構築に向けて進めていくことは有効である。																	
		その他特定財源	千円																									
		一般財源	千円		5,055	5,600	5,600																					
		事業費計 (A)	千円	0	5,055	5,600	5,600	0																				
	人件費	所要人員 (年間)	人																									
		人件費概算 (B)	千円	0	0	0	0	0																				
		(A) + (B)	千円	0	5,055	5,600	5,600	0																				
(2) 事業概要																												
事業目的	地域資源を活用した本市の魅力や価値の向上に取組み、地域力を高めるために外部専門家（地域力創造アドバイザー）制度を活用し、アドバイザーと一体となって取り組むことで新たな交流人口や関係人口の創出、移住定住、地域経済の循環に繋げることを目的とする。																											
事業内容	総務省の所管する地域人材ネット登録者の中から外部専門家を招致し、地域活性化の取組に関する指導や助言を受けながら地域独自の魅力や価値の向上に向けて取組む。																											
開始経緯	市民から本市の地域資源の活用を図り、地域活性化につなげたいとの提案があった。その中で総務省の外部専門家（地域力創造アドバイザー）制度を利用することで、専門家のノウハウを活かし地域力を高めることができる。また、市内には多くの地域資源があり、有効活用することで交流人口や関係人口、地域経済の循環に効果的である。																											
実施状況	令和5年度は市内遊休資産の洗い出しが主な業務であり、コロナ禍後の社会情勢の変化を見据え新たな交流人口・関係人口構築のきっかけとなるような資源の選定を行う。																											
成果	市内20施設以上の洗い出し、シミュレーションを行いながら有効な資産の仕分けを完了させることができた。																											
課題	R 6 は具体的な資産の管理、運用形態の座組、資金調達方法について先進事例等も含めながら調査をしていく。																											

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

現在のところ特段の改善案なし

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		企業版ふるさと納税推進事業		担当課		総合政策課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度					
				担当G		政策推進グループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
				会計	款	項	目				備考	(実績)	(実績)	(実績)						
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	1	2	1	4		ア	企業訪問件数	社	0 0	5 7	15 19	20 /	25 /	25 /		
（個別目標）	2	健全な財政運営が推進されるまち	主な費目	手数料						イ										
（施策）	2	歳入の確保	対象	企業	成果指標（成果・効果）					単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
（基本目標）	2	ひとや企業とのつながりを築く									(実績)	(実績)	(実績)							
（施策）	5	官民連携推進プロジェクト	事業期間	R2 R9	年度～ 年度（ 8 年間）				ア	寄附件数	件	5 10	5 11	7 17	9 /	10 /	10 /			
									イ											
(1) 総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価									
年間 トータル コスト	事業費 内訳	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	本市が地方創生を進めていく計画として、内閣府より「志布志市まち・ひと・しごと創生推進計画」の認定をいただ いており、有効である								
			その他特定財源	千円																
			一般財源	千円		166	13,744	5,216	4,000											
		事業費計 (A)	千円	0	166	13,744	5,216	4,000												
	人件費		所要人員 (年間)	人		0.500	1.000	1.000	1.000											
			人件費概算 (B)	千円	0	2,800	5,600	5,600	5,600											
			(A) + (B)	千円	0	2,966	19,344	10,816	9,600											
(2) 事業概要																				
事業目的	国の地方創生応援税制に則り、企業からの寄附を募ることで、資金の確保や企業との連携を深める。								効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	企業に対しては、本市の地方創生への取組に共感を持って いただけるよう各プロジェクトを磨き上げ、全国の企業へ アプローチするために各種マッチングイベントへの参加や 本市に関わりのある企業を訪問しながら、効率よくPRし ていく。									
事業内容	地方創生に資する取組みに対し、企業からの寄附を募る。																			
必要性	本市の地方創生を推進するため、令和2年度に内閣府より「志布志市まち・ひと・しごと創生推進計画」の 認定を受けた。「稼ぐ志布志をつくるとともに安心して働けるようにする」「ひとや企業とのつながりを築 く」「結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる」「魅力的で安心して暮らせるまちをつくる」の4つの 基本目標とし、人口減少に歯止めをかけるため、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）による企業から の寄附を原資とした各種事業に取り組む								達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	連携協定締結企業をはじめ、関連企業とのつながりを築 き、地域課題の解決に共創していくことで、本市の地方創 生に貢献する。									
実施状況	ホームページでの情報発信に加え、関連企業へのPR活動、マッチングを支援するサイトへの掲載により取 組を行っている。																			
成果	令和元年度 寄附件数1件		寄附額 5,000千円		令和2年度 寄附件数3件		寄附額 2,200千円		改革 改善案	○ 拡充	現状維持	改善	効率化	廃止終了						
	令和3年度 寄附件数7件		寄附額77,300千円		令和4年度 寄附件数10件		寄附額 10,900千円													
	令和5年度 寄附件数11件		寄附額 6,639千円		令和6年度 寄附件数21件		寄付額119,520千円													
課題	本市の地域再生計画を基にしたPR体制を整備し、各課と連携し積極的に活用していく。								現在のところ特段の改善案なし											